

科目名	組織病理・細胞診検査学演習 (Seminar in Histopathology and Cytology)			科目コード	M311
選択区分	選択	履修時期	1 後	単位数 (時間)	2 単位 (60時間)
担当教員	則松 良明・草薙 康城・徳原 康哲			関連DP	臨①②③
授業概要	病変の細胞・組織標本および免疫細胞・組織化学標本等を光学顕微鏡によって詳細に観察し、その形態学的特徴および疾病の本態について演習する。				
授業目標	組織病理検査学特論・細胞診検査学特論で学習および考察した知識をもとに、婦人科・呼吸器疾患等に関する細胞や組織の変化について形態学的解析能力を育成するとともに、婦人科疾患における内視鏡検査や画像検査と病態について総合的に理解する。また、それらの領域に関する英語研究論文を各自が調査・分析し、最新の研究手法や研究成果などについて発表する。				

授業内容とスケジュール

回	項目	内 容	担当者
1	ガイダンス	学習の方法、文献検索の仕方等	則松良明 草薙康城 徳原康哲
2～3	病変の画像観察	婦人科領域の内視鏡検査(コルポスコピー、子宮鏡)や画像検査(超音波、MRI)と病態	
4～8	病変標本の観察 (1)	婦人科疾患、呼吸器疾患に関する細胞診・組織標本の鏡検演習	
9～12	病変標本の観察 (2)	消化器疾患、泌尿器疾患に関する細胞診・組織標本の鏡検演習	
13～16	病変標本の観察 (3)	乳腺疾患、甲状腺・唾液腺疾患に関する細胞診・組織標本の鏡検演習	
17～20	論文読解 (1)	婦人科疾患、呼吸器疾患での組織・細胞病理に関する研究論文読解と討論	
21～24	論文読解 (2)	消化器疾患、泌尿器疾患での組織・細胞病理に関する研究論文読解と討論	
25～28	論文読解 (3)	乳腺疾患、甲状腺・唾液腺疾患での組織・細胞病理に関する研究論文読解と討論	
29・30	まとめ	組織病理・細胞診検査の研究における課題と意義の明確化	
成績評価方法	プレゼンテーション(30%)および課題レポート(則松 30%, 草薙 20%, 徳原 20%)を併せて総合的に評価する。		
必携あるいは参考図書・文献	Cancer, Cytopathology 等の欧米の学術誌の論文を参考にする。		
授業時間外の学習について			
関連科目	309 組織病理検査学特論、310 細胞診検査学特論		
備 考	組織病理検査学特論、細胞診検査学特論の履修を前提とする。		